平成23年10月１日発行（毎月1回1日発行）

JACIC news 2011 10月号/No.269

JACIC 財団法人日本建設情報総合センター

ニュースと解説

平成23年度 電子入札コアシステム 地方ブロック会議 開催報告

電子入札コアシステム開発コンソーシアム事務局では、平成23年7月8日～9月6日にかけて全国9ブロックにおいて地方ブロック会議（以後「ブロック会議」という）を開催しましたのでその概要を報告します。

１．会議の位置づけ、目的

ブロック会議は、毎年1月下旬に東京で開催されるコアシステムユーザ会議（以後「ユーザ会議」という）の地方版として位置づけ、ブロック毎の多くのユーザの参加機会を確保し活発な情報・意見交換等を行うことにより、円滑な電子入札の開発・運営に寄与することを目的として平成17年度から開催しています。

ブロック会議において討議検討された重要な項目は、ユーザ会議の議題として討議されます。

２．会議概要

①各ブロック会議の日程と参加状況（132団体）

・北海道（札幌市）：平成 23年７月14日（３団体）
・東北（仙台市）　：平成 23年７月29日（７団体）
・関東（中央区）　：平成 23年７月27日（20団体）
・北陸（富山市）　：平成 23年７月８日（10団体）
・中部（名古屋市）：平成 23年９月６日（５団体）
・近畿（大阪市）　：平成 23年８月22日（53団体）
・中国（広島市）　：平成 23年７月26日（７団体）
・四国（高松市）　：平成 23年７月15日（10団体）
・九州（福岡市）　：平成 23年７月22日（17団体）

②ユーザ間の情報交換

ブロック会議の主題となるユーザ間の情報交換に先立ち、各ユーザの抱えている悩みや課題、情報交換したい事項、事務局への確認事項等を収集し、同ブロック内の各団体に資料として事前配布しました。

会議では、各団体の現状を紹介いただくとともに、事前配布資料を用いて以下に関して意見交換や質疑応答が行われました。

・暗号アルゴリズム移行時の対応方法
・ASPに切り替えるメリット、デメリット
・電子くじの運用
・共同利用やシステム連携について
・事務局へのコアシステムの機能等に関する確認

③コンソーシアム事務局からの情報提供

【Javaの不具合回避モジュール提供】

コアシステムを利用するにあたり、Java言語で開発されたソフトウェアを実行するためのソフトウェアであるJRE（Java Runtime Environment）の不具合により、利用バージョンが制限されていました。

この問題を解決するためのモジュールを7月にリリースしたことを報告しました。

【新しいLGPKIクライアントソフトリリース】

Windows7への対応とともに性能向上した新しいLGPKI（地方自治認証基盤）専用クライアントソフトを8月末に提供することを報告しました。

【Windows7 64bit版対応】

コアシステムは、Windows7 32bit版のクライアントPCで動作確認済みです。店頭で販売されているパソコンは64bit版がほとんどとなっており、応札者から問合せが急増している現状をかんがみWindows7 64bit版の動作確認を10月末までに実施することを説明しました。

【今後のコアシステムリリース保守計画（案）】

昨年度に開催した特別会員会議及びユーザ会議においてコアシステムの次期バージョン提供等のスケジュール案を提示したところ、一時期にまとまって多くの団体が更新することはスケジュール的に厳しいとの意見がありました。このため、暗号アルゴリズム移行を確実に実施する観点からスケジュールの見直しを行いました。具体的には、Windows Server 2008 R2等へ対応したコアシステムV5.2を1月末にリリース予定であることやOSS（Open Source Software）対応版の検討ならびにコアシステムV6.0の提供時期変更を再提示しました。

【暗号アルゴリズムの移行】

暗号アルゴリズムの移行に関しては、関係機関のスケジュールや現状について情報提供を行い、コアシステムの対応予定時期や予算要求に向けた大まかな作業について説明しました。

３．終わりに

ブロック会議は、ユーザ会議とともに全国のユーザの皆様と直接意見交換が行える貴重な場です。今後も充実した会議となるよう努力していきたいと思います。

会議に参加いただいた方々には、お礼を申し上げるとともに、皆様からいただいた意見や要望等を今後の検討に反映させてまいります。

（CALS/EC部　主任研究員　菊地修）

CALS/ECコーナー

中部地方整備局　平成23年度優良業務表彰
―平成22年度　電子納品成果利活用改善検討業務―

1. はじめに

国土交通省では、完成した工事、完了した業務の中で特に優れた成績を収めた工事、業務、技術者、企業について、優良表彰を行っています。

平成22年度にCALS/EC部が担当した業務が「成績優秀」との事由で、中部地方整備局長表彰を受賞しましたので報告します。

2. 平成23年度 中部地方整備局 優良工事等局長表彰

JACICが受賞した業務の概要を以下に記載します。

(1)業務名（優良業務）

平成22年度　電子納品成果利活用改善検討業務

(2)履行期間

平成23年1月12日～平成23年3月25日

(3)業務概要

本業務は、電子納品成果の利活用を図ることを目的に、電子納品に関する課題を整理した上で、既存システムを改良するための検討を行い、改良システムの仕様書を作成し、さらに今後の電子納品に関する情報システム等の環境の変化を踏まえ、中期的な電子納品の将来像を検討するものである。

・電子納品に関する課題の整理
・電子納品保管管理システム・電子納品チェックシステムを改良するための検討及びシステム改良仕様書(案)の作成
・電子納品の将来像の検討
・電子検査システムの検討
・電子納品運用ガイドライン機械設備工事編【工事】H23.4版(案)の作成
・電子納品保管管理システムの配付方法検討

3. 本業務への取り組み

本業務は年度末の繁忙期に受託した業務であり、業務期間が短い事に加え、業務の実施条件に不確定な項目がありました。更に、電子納品に係る施策を円滑に推進するため、他分野の要領改定を併せて実施する等の提案が受け入れられ、業務内容が追加されました。

特に本業務を履行する上で、留意した点を列挙します。

(1)顧客満足度の高い業務提案

・電子納品導入支援の実績を踏まえた的確な課題整理
・電子納品の課題および要領改訂動向を踏まえたシステム改良仕様への反映、地方整備局として実践的・効果的な電子納品の将来像の提案

(2)業務量の把握（作業量と不確定作業の明確化）

・顧客のニーズ把握、適切な段取りの実施
・無駄な作業の防止

(3)工程管理（業務成果とその確認時期の共有）

・業務進捗状況と各職員の総業務量を把握し、業務間で調整
・適切なレビュー実施による状況確認、必要に応じた作業手順の見直し

4. おわりに

CALS/EC部では、2度目の優良業務の受賞となりました。

今回は、工期の短い中でも、本業務の重要性を充分に認識し、これまでの経験を活かし、地方整備局のニーズを的確にとらえ、管理技術者および担当技術者は元より、組織としての総力を結集の上、業務効率化を図りつつ、より良い業務提案が行えたと考えております。

今回の本業務における取り組みを組織全体に展開し、JACICとしての業務の品質・満足度の向上に努めてまいります。

（CALS/EC部　主任研究員　阿久澤孝之）

「CALS/EC理解度チェック」Web版公開のお知らせ

CALS/ECを継続して学習していただく方のために、「CALS/EC理解度チェックソフト」の一部機能をWeb版として公開しました（http://www.cals.jacic.or.jp/）。
お知らせ欄右上の「理解度チェック」バナーからお入りください。

JACIC便り

平成23年度RCCM資格試験準備講習会終了

シビルコンサルティングマネージャー（RCCM）の資格制度が、平成3年度に創設され、今年度で21年目となりました。JACICは昨年に引き続き、国土交通省後援の下、「平成23年度RCCM資格試験準備講習会」を7月下旬から8月初旬に全国11会場で開催しました。

本年度も「テキスト」を最新の内容に改訂するとともに、「想定問題・解答」の専門技術知識に昨年度の問題傾向を取り入れ、巻末には平成20～22年度の3ヵ年度の問題を掲載しました。また、講習会当日には、問題Ⅲ解答論文構成例を配布するなど、講習内容の充実を図ってきました。

右表に示しますように本年度の申込者数は2,742名、出席者2,603名（出席率94.9%）でした。今後も、建設コンサルタント技術者の技術力向上とRCCMの普及を目指し、講習内容の充実に努めます。

なお、RCCM資格試験は、(社)建設コンサルタンツ協会が平成23年11月13日(日)に実施します。

申込者数と出席者数

開催地	開催日	申込者数	出席者数
札　幌	7/28(木)	258	245
仙　台	8/ 5(金)	240	228
東京１	8/ 3(水)	389	364
東京２	8/ 8(月)	337	316
新　潟	7/29(金)	130	124
名古屋	8/ 4(木)	252	237
大　阪	8/ 5(金)	357	340
広　島	8/ 4(木)	135	128
高　松	8/ 2(火)	123	118
福　岡	7/26(火)	426	409
沖　縄	7/28(木)	95	94
合　計		2,742	2,603

（経営企画部　参事　矢田敬）

JACIC情報103号のご案内

特集：VR，MR，AR

建築分野におけるBIM（Building Information Modeling)、土木分野における「バーチャルコンストラクション(VC)」等に見られるように建設分野においても3次元モデルの利活用が広がり始めています。

この建設分野における３次元の潮流には、VR(仮想現実)，MR(複合現実)，AR(拡張現実）の技術も挙げられ、情報化施工やインフラ施設の管理等において、可視化による生産性の向上や品質確保に有効な技術として期待されています。JACICでは昨年11月に「欧米の建設分野におけるVR(仮想現実）適用の最新事情－3次元データ，BIM，クラウドコンピューティングの利活用－」と題してJACICセミナーを開催し、これらの技術の欧米の建設分野における適用事例を紹介しました。

本号では、VR，MR，ARに関して現状における適応事例を紹介し、将来的な可能性について展望します。

主な内容

①巻頭言：東京大学　池内　克史　教授
②特別講座：大阪大学　矢吹　信喜　教授
③建設分野における活用事例：
　東京大学　小野　晋太郎　特任助教
　中央大学　樫山　和男　教授
　京都大学　石井　裕剛　助教
　他３編
④AR・MRの最新技術と応用：
　東京大学　大石　岳史　特任講師
　奈良先端科学技術大学院大学　横矢　直和　教授
　株式会社アスカラボ　角田　哲也　代表取締役社長
　他２編

JACIC情報は、1冊1,050円(税込,送料別)です。ご購読のお申し込み、お問い合わせは、総務部(Tel.03-3505-2981)までお願いいたします。

（経営企画部　参事　矢田敬）

地方便り

中国地方センターの活動報告、及びコリンズ・テクリス

1．活動報告

○ 電子入札実践講習会（主催：広島商工会議所）
～電子入札コアシステムとコリンズ・テクリス～
平成23年6月1日～7日　参加39名

○ 災害復旧効率化支援システム（Photog-CAD）デモ
平成23年6月20日　参加 中国地整5名

○ 中国地方ブロックコアユーザ会議
平成23年7月26日　参加 中国5県1政令市

○ RCCM資格試験受験準備講習会
平成23年8月4日　参加126名

○ コリンズ・テクリス検索システム　デモ
平成23年4月以降　中国管内 地方自治体等

2．コリンズ・テクリス

中国地方センターによくあるお問い合せや、皆様に知って頂きたい事を、少しだけご紹介します。

■ 発注機関の皆様へ

○「発注機関確認情報（メールアドレス等）」の誤り

発注機関確認情報（**所属部署、氏名、氏名（カナ）、メールアドレス**）が、誤って登録された場合の訂正については、「**発注機関の了承が得られれば、訂正手続きは必要ありません。**（HP：Q&A No.393より）」としています。

当該情報の扱いは、下記の通りとなっています。訂正の要否を判断するにあたっての参考にして下さい。

【入力する目的】
- **発注者の確認を経て登録**することを確実にする為
- 登録完了を発注者に**お知らせ**する為

【提供、記載箇所】
- **実績データに含まれない（提供されない）**
- **登録内容確認書に記載される**

【訂正するとどうなるか】

登録日	変わる（訂正処理完了日）
訂正手数料	有料　（登録料とは別）

○「一般競争の参加資格要件」の検討資料が作成可能
（Web版コリンズ検索システムから搭載した新機能）
- 「工事実績」→「**複合条件による実績データ検索**」
- 地域条件、実績条件等を設定することで、条件に該当する企業名、企業数を検索することができます。
- 併せて検索結果一覧から**条件別比較表**を自動的に作成できます。（**エクセル形式**でダウンロード可）

※詳細な操作説明は各画面の右上「使い方」にありますので、是非使ってみて下さい。

※企業条件に貴自治体の有資格企業を登録されることをお勧めします。

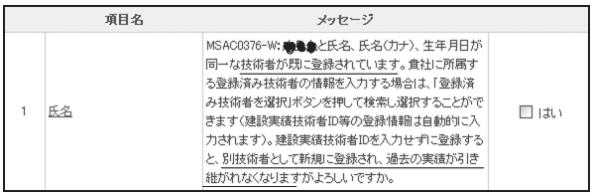
■ 登録企業の皆様へ

○「あれっ、左に寄ってる」？？？

上図のように、ログイン名の入力枠が左に寄っている状態では、ログインできません。

こんな時は「**ツール－互換表示**」（もしくは、ホームページアドレス右横の **ボタン押下**）をすると、入力枠が中央に移動し、ログイン出来るようになります。
（原因：Internet Explorer 8以降で発生します）

○「技術者が既に登録されています」？？？



「**入社して初めて登録する**のに、既に登録されていると表示される。」「**技術者検索しても出てこない**のにおかしい。」という問合せをよく頂きます。

このような場合、その技術者は過去にコリンズ・テクリスへ登録実績があり、以前勤務していた会社の所属のままになっている事が考えられます。「**建設実績技術者の所属企業変更手続き依頼書**」を提出頂くと、御社の所属に変わり、技術者検索できるようになります。

3．お問合せ

平成23年4月1日から、留守番電話を導入しました。誠に恐れ入りますが、お問い合わせ等がございましたら業務時間にお掛け頂きますようお願い申し上げます。

業務時間：午前9時～12時、午後1時～5時30分
（土日祝および年末年始を除く）

JACIC中国地方センター
電話 ：082-227-1105　　FAX：082-227-1106
Email ：chuugoku@jacic.or.jp
住所 ：広島市中区八丁堀4-4エイトバレー八丁堀8階

（中国地方センター　センター長　鷲田治通）

JACIC便り

コリンズ・テクリスの登録件数の状況
（平成23年6月～8月）

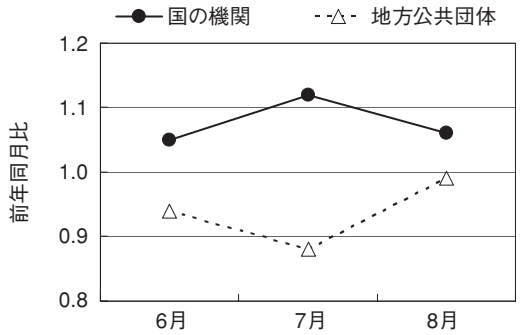
コリンズ・テクリスの登録件数の状況（平成23年6月～8月）は次のとおりです。

● コリンズ

コリンズの登録件数（契約額500万円以上）

	6月	7月	8月
国の機関	1,081 (1.05)	1,607 (1.12)	1,846 (1.06)
地方公共団体	14,265 (0.94)	18,654 (0.88)	20,760 (0.99)

（ ）：前年同月比



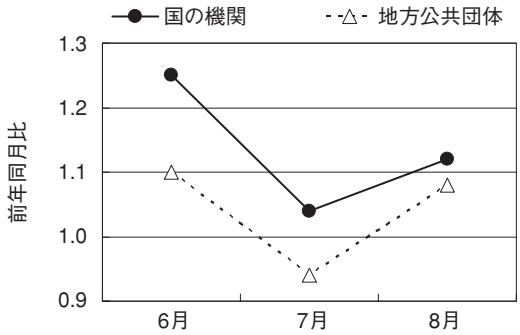
コリンズ登録件数前年同月比較(契約額500万円以上)

● テクリス

テクリスの登録件数（契約額500万円以上）

	6月	7月	8月
国の機関	1,252 (1.25)	1,316 (1.04)	1,368 (1.12)
地方公共団体	3,105 (1.10)	3,658 (0.94)	3,863 (1.08)

（ ）：前年同月比



テクリス登録件数前年同月比較(契約額500万円以上)

（経営企画部　参事　矢田敬）

e-BISCコーナー

ヘルプデスクへの質問と回答

国土交通省の電子入札に関し、ヘルプデスクへ寄せられた応札者からの問い合せの主なものについて、紹介します。

その他の項目についても、ホームページ（http://www.e-bisc.go.jp/）のFAQ（よくある質問）に掲載しています。

項　目	質　問	回　　答
システム共通	Windows Vista SP1の端末で従来通り国土交通省電子入札システムを利用できますか	Windows Vista SP1については、Microsoft社のサポート終了に伴い国土交通省電子入札システム稼働環境から除外いたしました。当該OS環境では国土交通省電子入札システムがただちに利用できなくなることはありませんが、今後脆弱性が発見された場合や新たな問題が発生した場合にはサポートが行えません。お早めに電子入札稼働環境内の他のOS（Windows Vista SP2 など）への移行をお願いいたします。
	Windows7の端末はXPモードでも国土交通省電子入札システムを利用できますか	Windows7は国土交通省電子入札稼働環境に採用されていますが、XPモードは電子入札コアシステム動作対象外とされているため、当該稼働環境から除外されています。国土交通省電子入札システムでXPモードを利用された場合は動作保証されません。

（e-BISCセンター　参事　堀喜一）

JACIC刊行物のご案内

名　　称	価格(円)		内　　容	問合
JACIC情報	1部	1,050	JACICの機関誌で、建設関連情報や、多様化する建設の動きを紹介したもの。	①
CD-ROM版JACIC情報	1枚	8,400	JACIC情報創刊号から59号までの記事を集録。	①
河川定期縦横断測量業務実施要領・同解説（平成9年6月）	1部	840	国土交通省等で行われる河川定期縦横断測量業務の実施方法、成果、電子情報化等についての標準的な手法を掲載。	③
100mメッシュ延床面積データ（世界測地系・日本測地系）	1メッシュ1ヶ	21,000	治水経済調査における家屋資産額算出時に必要となる延床面積のデータ。	③
パンフレット指定・任意の正しい運用について（H15.8.1発刊）★	1部	84（5部から受付）	積算システム基準書の設計変更の正しい運用について趣旨の周知と徹底について解説。	②
ボーリング柱状図作成要領（案）解説書改訂版	1部	1,890	ボーリング調査後に発注者へ提出する「ボーリング柱状図」の作成様式及びその記入方法を記した「ボーリング柱状図作成要領（案）」の解説書。	③
GISと市町村合併	1部	1,260	複数の市町村間で別々に整備された地図データの共有化について検討し、さまざまな課題の解決策を提示。GISや地図に関する問題・課題をGISという立場から平易に解説。	④
地方公共団体のためのWeb GIS導入マニュアル	1部	1,575	地方公共団体が運用するWeb GISの先進事例の紹介と、導入前から導入基本計画、設計、開発、運用及びメンテナンスに至るまでの課題を整理し対応策を提示。	④
GISデータブック2011	1部	3,780	国内で販売されているGISソフトウエアと地図データベースを紹介。	④
地図を使ったWebサイト作成ガイド	1部	1,890	行政・教育機関、民間企業、NPO法人及び個人の方に至るまで、だれもが手軽に様々な情報を地図上に重ね合わせて提供できる、地図を使ったWebサイトを作成するための方法を実践的かつ分かりやすく解説。	④
災害復旧効率化支援システムPhotog-CAD★	1セット	157,500	総合単価を使った災害査定申請業務をデジタルカメラを用いた写真測量技術とCADを融合させた現地調査・測量、設計・積算等、一連の作業をシステム化したソフトウエア。査定申請以外にも利用可能。	④

価格は税込みによる金額です。★印の刊行物は送料も含んでいます。
①総務部〔03-3505-2981〕　②建設コスト研究部〔03-3584-2401〕　③システム高度化研究部〔03-3584-2402〕
④システム高度化研究部GIS室〔03-3584-2403〕
購入方法の詳細は、http://www.jacic.or.jp/books/をご覧ください。

BOOK GUIDE

環境防災学
―災害大国日本を考える文理シナジーの実学―

著者：竹林 征三　発行：技報堂出版　価格：3,150円（税込）

「環境防災」とは何か―これは、全く関係のない「環境」と「防災」という二つの概念をただ並列で並べたものではない。二つの概念は、互いに密接不可分な関係にあり、互いに補完しあわなければ、健全な体系にならない宿命を背負っている。

災害は最大の環境破壊である。その災害を減らそうとする防災は、環境保全対策の最も重要な根幹をなすものである。従って防災を考えるとき、望まれる環境形成に以下に資するかという視点が最も重要な目標であらねばならない。

（「まえがき」より）

お知らせ　会員情報の変更は下記のURLにアクセスして下さい。
http://www.jacic.or.jp/henkou.html

■編集・発行　財団法人 日本建設情報総合センター

〒107-8416　東京都港区赤坂7丁目10番20号アカサカセブンスアヴェニュービル
TEL.（03）3505-2981〈代表〉　FAX.（03）3505-2966
ご意見・お問い合わせ先：http://www.jacic.or.jp/inquiry/index.html
JACICホームページ http : //www.jacic.or.jp/

ISO9001 MSA MSA-QS-2368　MS JAB CM024

印刷・製本　交文社印刷（株）
電話　03-3267-1225